

# 衆議院国家安全保障に関する特別委員会ニュース

平成 25. 11. 6 第 185 回国会第 7 号

11 月 6 日（水）、第 7 回の委員会が開かれました。

## 1 安全保障会議設置法等の一部を改正する法律案（第 183 回国会、内閣提出第 75 号）

- ・原案及び修正案について、安倍内閣総理大臣、岸田外務大臣、小野寺防衛大臣及び菅内閣官房長官並びに修正案提出者渡辺周君（民主）、長島昭久君（民主）及び後藤祐一君（民主）に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・渡辺周君外 2 名（民主）提出の修正案の撤回を許可することに、協議決定しました。
- ・岩屋毅君外 7 名（自民、民主、維新、公明）提出の修正案について、提出者岩屋毅君（自民）から趣旨説明を聴取しました。
- ・藺浦健太郎君（自民）、大島敦君（民主）、今村洋史（維新）、畠中光成君（みんな）、赤嶺政賢君（共産）及び玉城デニー君（生活）が討論を行いました。
- ・修正案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決されました。  
（賛成－自民、民主、維新、公明、みんな 反対－共産、生活）
- ・修正部分を除く原案について採決を行った結果、賛成多数をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。  
（賛成－自民、民主、維新、公明、みんな 反対－共産、生活）
- ・中谷元君外 3 名（自民、民主、維新、公明）から提出された附帯決議案について、上田勇君（公明）から趣旨説明を聴取しました。
- ・採決を行った結果、賛成多数をもってこれを付することに決しました。  
（賛成－自民、民主、維新、公明、みんな 反対－共産、生活）

（質疑者及び主な質疑内容）

### 今 津 寛君（自民）

- ・安倍内閣総理大臣が掲げる「積極的平和主義」とはどのような考えか。
- ・集団的自衛権と個別的自衛権を区別して議論している国及び集団的自衛権を行使できない国の有無を伺いたい。
- ・米国同時多発テロの際、米国政府が陥った混乱を教訓として、国家安全保障会議はどのような組織であるべきか内閣総理大臣の見解を伺いたい。

### 上 田 勇君（公明）

- ・国家安全保障局長が担う役割の重要性に鑑み、どのような資質、能力をもつ者が適任と考えるか内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・閣議及び各大臣会合における議事録の必要性に関して、内閣総理大臣の見解を伺いたい。

### 大 島 敦君（民主）

- ・国家安全保障担当内閣総理大臣補佐官に代えて、内閣官房副長官を増員した方が良いとする考えに対し内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・国家安全保障会議への情報提供を各省庁の義務とする民

主党提出の修正案について内閣総理大臣の見解を伺いたい。

- ・国家安全保障会議の議事録作成の必要性について内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・将来、政策決定過程の検証を行うために議事録は作成すべきとの考えについて修正案提出者及び内閣総理大臣の考えを伺いたい。

### 藤 井 孝 男君（維新）

- ・中国の台頭に伴う「力関係の逆転」の意味について内閣総理大臣の考えを伺いたい。
- ・米国の国際的地位の相対的変化を踏まえて、現在の米中関係に関する内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・日中関係が良好でない原因について内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・将来的に情報収集機関が必要であることについて内閣総理大臣の見解を伺いたい。

### 畠 中 光 成君（みんな）

- ・強みと弱みを内包する日本の政治・官僚文化の中で国家安全保障会議を創設する際に注意すべき点について内閣総理大臣の考えを伺いたい。

- ・国家安全保障会議は世界中の全ての外交・安全保障分野を対象とするのか、又は特定の分野・地域のみを対象とするのか内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・政権交代の際に、安全保障政策の変更はどの程度、許容されるのか内閣総理大臣の見解を伺いたい。

### **赤 嶺 政 賢君（共産）**

- ・イラク戦争開戦時に米国を支持した当時の自民党政権の責任について内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・国際法も無視して、同盟国に対して盗聴活動を行う米国と情報共有することの意義について内閣総理大臣の見解を伺いたい。

### **玉 城 デニー君（生活）**

- ・政策決定の過程が不透明であり、閣議決定の形骸化ともなるとの懸念を抱かせる4大臣会合に対する内閣総理大臣の見解を伺いたい。
- ・日本版NSC法案は、内閣総理大臣への権限集中や情報の一元化などの一層の強化を目的としているものではないのかとの見方について内閣総理大臣の見解を伺いたい。